

令和3年度行政事業レビューシート (金融庁)

事業名	サステナブルファイナンス推進に必要な経費			担当部局庁	総合政策局			作成責任者		
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	総合政策課サステナブルファイナンス推進室			西田 勇樹		
会計区分										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定) 「成長戦略実行計画2021」(令和3年6月18日閣議決定) 「成長戦略フォローアップ2021」(令和3年6月18日閣議決定) サステナブルファイナンス有識者会議報告書(令和3年6月公表)					
主要政策・施策	-			主要経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	サステナブルファイナンスの推進に関して有識者会議、金融機関の国際イニシアティブ参加支援、JFANZの設立を行う。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①金融機関の国際イニシアティブ参加支援: 2050年カーボンニュートラルに向けてのコミットメントを支援する重要な国際イニシアティブ3つを対象に、銀行、アセットマネジメント、アセットオーナー別に参加に関心があるところを募り、情報提供や打ち合わせ同席、資料作成支援などを行う。 ②The Japan Financial Alliance for Net Zero(JFANZ)(仮称): 上記、①金融機関の国際イニシアティブ参加支援の活動を拡大するために、JFANZを立ち上げる。JFANZは①の事業に参加した金融機関に限らず、幅広い金融機関を対象として、2050年カーボンニュートラルに向けた知見・ノウハウの普及を勉強会等を通じて行うとともに、日本として意見発信のための意見集約や準備を行う。 ③サステナブルファイナンス有識者会議: 日本におけるサステナブルファイナンスの推進にあたり、金融機関や金融資本市場が適切に機能を発揮するための課題や対応案について検討するため、産業界・金融界・学識経験者などを構成員とするサステナブルファイナンス有識者会議を開催するもの。									
実施方法										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
		当初予算	-	-	-	-	35.1			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	0	0	0	0	35.1			
	執行額									
	執行率(%)		-	-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-	-				
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	委託調査謝金(金融機関の国際イニシアティブ参加支援/JFANZ立ち上げ・運営)		-	31.3	上記予算は全額、要望額にて要求。					
	サステナブルファイナンス有識者会議諸謝金		-	2.9						
	金融政策業務旅費		-	0						
	金融政策業務庁費		-	0.8						
	その他		#VALUE!	0.1						
	計		-	35.1						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 4 年度	目標最終年度 年度
	国際的なイニシアティブ参加支援機関数のうち日本の参加機関数の増加		国際的なイニシアティブ参加支援機関数のうち日本の参加機関数の増加		成果実績	機関	-	-	-	
					目標値	機関	-	-	-	9
					達成度	%	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-									

			定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 4年度	目標最終年度 年度
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	JFANZに参加した金融機関数			JFANZに参加した金融機関数	成果実績	機関	-	-	-		
					目標値	機関	-	-	-	9	
					達成度	%	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)			-								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標			成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 4年度	目標最終年度 年度
	サステナブルファイナンス有識者会議開催経費			外部有識者会議報告書等本数	成果実績	本	-	-	-		
					目標値	本	-	-	-	2	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)			-								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	①金融機関の国際イニシアティブ参加支援 金融機関支援回数(情報提供、打ち合わせ同席、資料作成)				活動実績	回	-	-	-	-	
					当初見込み	回	-	-	-	-	9
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	②JFANZ 国内金融機関向けの勉強会開催回数				活動実績	回	-	-	-	-	
					当初見込み	回	-	-	-	-	9
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	③外部有識者会議開催回数				活動実績	回	-	-	-	-	
					当初見込み	回	-	-	-	-	10
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	予算執行額 / 金融機関支援回数				活動実績	回	-	-	-	-	
					当初見込み	百万円/ 回	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	予算執行額 / 国内金融機関向けの勉強会開催回数				活動実績	回	-	-	-	-	
					当初見込み	百万円/ 回	-	-	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	予算執行額 / 外部有識者会議開催回数				単位当たり コスト	百万円	-	-	-	-	
					計算式	百万円/ 回数	-	-	-	-	-
生計 画・財 政関再	政策 評価	政策 施策	3 その他の横断的施策								
世界共通の課題への対応(サステナブル・ファイナンス、マネロン・テロ資金供与対策の強化)について、我が国として必要な取組を実施し、国際的な議論へ参画・貢献する。											
外部有識者の所見											
-											
行政事業レビュー推進チームの所見											
-											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
-											
備考											
-											

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

関連する過去のレビューシートの事業番号

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

サステナブルファイナンス推進に必要な経費

金融庁

① 金融機関の国際イニシアティブ参加支援

② The Japan Financial Alliance for Net Zero (JFANZ) 立ち上げ

委託【一般競争契約】

【一般競争契約等】

A. 委託先

B. 委託先

サステナブルファイナンス有識者会議運営会議経費

≪ESG投資の積極的な推進やエンゲージメントに向けたコミットメントの

≪ESG評価・データ提供機関に期待される行動規範のあり方について有識者

【年間契約】

【直接実施】

【直接実施】

E. 委託先

c. 個人

D. 個人

速記業者への委託費用

外部有識者により構成される会議の出席手当・旅費

外部有識者により構成される会議の出席手当・旅費

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が)

A.

B.

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-	-	-	-	-